

主 題: 恵みに共に与る ―信仰の継承を考える―

序. 今回の講演の特徴

信仰の継承のために、今何ができるかを考えます。

話を聞いて終わりではありません。

仮に今回いい話を聞けたとしても、聞いて終わったのでは問題は解決しません。

信仰の継承のために具体的な行動が必要です。

情報や知識を得ただけでは、問題は解決しません。

問題解決のための取り組み、行動が必要です。

信仰は生きること、神と共に生きること、神に従って生きていくことです。

生きるという具体的な行為が大切です。

1. 誰に信仰を継承したいと考えていますか？

夫や妻を諦めていませんか？ 子どもを諦めて、せめて孫と思っていないですか？

信頼して、諦めない。 誰を？ 神を！

創世記 15:5-6

「主は彼を外に連れ出して言われた。「天を仰いで、星を数えることができるなら、数えてみるがよい。」そして言われた。「あなたの子孫はこのようになる。」アブラムは主を信じた。主はそれを彼の義と認められた。

2. なぜ継承するのでしょうか？

事実、このわたしはキリストによって救われたから。

救いはなくてはならない必要なものだから。

ローマ 8:39

「わたしは確信しています。死も、命も、天使も、支配するものも、現在のものも、未来のものも、力あるものも、高い所にいるものも、低い所にいるものも、他のどんな被造物も、わたしたちの主キリスト・イエスによって示された神の愛から、わたしたちを引き離すことはできないのです。」

使徒 4:12

「ほかのだれによっても、救いは得られません。わたしたちが救われるべき名は、天下にこの名のほか、人間には与えられていないのです。」

神が約束してくださったから。

創世記 17:7

「わたしは、あなたとの間に、また後に続く子孫との間に契約を立て、それを永遠の契約とする。そして、あなたとあなたの子孫の神となる。」

神のこの約束を(親が)信じて、小児洗礼を授ける。

そして、この神を知ることは、人生の一大事。

ジュネーブ教会信仰問答 問1

「人生の主な目的は何ですか。 神を知ることであります。」

人は関係の中で生きる存在。神との関係に生きるか否かは決定的な出来事。

3. 信仰教育は親の務め

日曜学校に連れて行ったら終わりではありません。

親には、子どもに神の御業、教えを伝える務めが与えられています。

〈過越祭〉

出エジプト 10:2

「わたしがエジプト人をどのようにあしらったか、どのようなししを行ったかをあなたが子孫に語り伝え、わたしが主であることをあなたたちが知るためである。」

出エジプト 12:25～27

「主が約束されたとおりあなたたちに与えられる土地に入ったとき、この儀式を守らねばならない。また、あなたたちの子供が、『この儀式にはどういう意味があるのですか』と尋ねるときは、こう答えなさい。『これが主の過越の犠牲である。主がエジプト人を撃たれたとき、エジプトにいたイスラエルの人々の家を過ぎ越し、我々の家を救われたのである』と。」民はひれ伏して礼拝した。」

出エジプト 13:8

「あなたはこの日、自分の子供に告げなければならない。『これは、わたしがエジプトから出たとき、主がわたしのために行われたことのゆえである』と。」

〈律法〉

申命記 6:6～7

「今日わたしが命じるこれらの言葉を心に留め、子供たちに繰り返し教え、家に座しているときも道を歩くときも、寝ているときも起きているときも、これを語り聞かせなさい。」

申命記 6:20～

「将来、あなたの子が、「我々の神、主が命じられたこれらの定めと掟と法は何のためですか」と尋ねるときには、あなたの子にこう答えなさい。「我々はエジプトでファラオの奴隷であったが、主は力ある御手をもって我々をエジプトから導き出された。～」

申命記 31:11～13

「主の選ばれる場所にあなたの神、主の御顔を拝するために全イスラエルが集まるとき、あなたはこの律法を全イスラエルの前で読み聞かせねばならない。民を、男も女も子供も、町のうちに寄留する者も集めなさい。彼らが聞いて学び、あなたたちの神、主を畏れ、この律法の言葉をすべて忠実に守るためであり、これをまだ知らない彼らの子供たちも聞いて学び、あなたたちがヨルダン川を渡り、入って行って得る土地で、彼らも生きている限り、あなたたちの神、主を畏れるようになるためである。」

心に残るユダヤ式育児法

文字を学ぶ年齢になったら、パンに蜂蜜で文字を書く。

詩編119:103

「あなたの仰せを味わえば／わたしの口に蜜よりも甘いことでしょう。」

文字が読めるということは、聖書が読めるということを教える。

4. 信仰が本当に大事だと思っていますか？

あなたは救われていますか？

救いがあなたの家族、大切な人に必要だと思っていますか？

「できれば信仰を持ってくれたらいいなと思う」ではありません。

マルコ9:22～23

「おできになるなら、わたしどもを憐れんでお助けください。」

イエスは言われた。「『できれば』と言うか。信じる者には何でもできる。」

すべての人に、そしてわたしの愛する者たちに救いは必要です。

神がわたしたちの祈りを聴き、時になんて信仰へと導いてくださると信じること。

神を信じて、諦めない。

でも、大事だと思っているだけでなく、今できることをしていきましょう。

今も御業をなしておられる神を信じて、神と共にわたしも働く。

ヨハネ5:17

イエスはお答えになった。

「わたしの父は今もなお働いておられる。だから、わたしも働くのだ。」

5. 信仰生活を喜んでいますか？ 分かち合っていますか？

よかった本や映画、マンガについて家族や友人に話したり、勧めたりします。

同じように説教で聴いた聖書のよかったところ、印象に残ったところを話しましょう。

手始めに、壮年会・婦人会で話してみましよう。

聖書について話すことに慣れましよう。

これは註解書をよく読んで、内容を正しく伝えるということではありません。

説教を聞いたときに受けた印象、聖書を読み直して感じたことを分かち合いましよう。

6. 証しが求められています

1ペテロ 3:15

「あなたがたの抱いている希望について説明を要求する人には、いつでも弁明できるように備えていなさい。」

娘が保育園に行った途端「本当は神さまなんていないんでしょ」

一番大事なのは〈ごまかさなない〉こと 〈真剣に〉応対ましよう。

大人こそ教理、カテキズムを学ばましよう。

子ども・青年向けの分かりやすいものを学ばましよう。

キリスト教教理(永井春子, 日本キリスト教会教育委員会)

みんなのカテキズム(アメリカ合衆国長老教会, 一麦出版社)

この度、教案が教育委員会から出版されました。

はじめての信仰問答(鞭木由行, CS成長センター, 893円)

明解カテキズム(日本基督教団全国連合長老会日曜学校委員会, キリスト新聞社)

続・〃 (各2,730円)

聖書に親しみましよう。 家庭礼拝暦などによる聖書通読。 聖書物語を読む。

子どもに語る聖書(こぐま社, 3,150円)

聖書物語(福音館書店, 9,975円)

聖書物語によって、救いの御業の流れを覚えることは大事。

持っているとい本

聖書辞典 - 新共同訳聖書 - (新教出版社, 2,940円)

7. 今、実際にできること

祈りましょう

子どもや孫が来たら、見舞いに行ったら。

祈られていることを経験することは大切。

はがき・手紙を出しましょう

御言葉を送りましょう。

いい説教を聞いたら、感想を添えて送りましょう。

御言葉を自分のところで止めないで伝えましょう。

8. これから子育てをする人たちへ

子どもと一緒に祈りましょう。

自分の好きな讃美歌を歌ってあげましょう。

お勧めは短い讃美歌 讃美歌21 42-1, 46, 85

絵本や昔話を語り聞かせましょう。物語を聞くという習慣が大事。

物語については『教会の神学 第18号』pp. 107~111の書評参照
エネルギーを蓄えましょう。

子どもに関わっていくことにも、我慢して見守るのにもエネルギーが必要です。

聖書や祈りによって、日常の忙しさを中断(安息)することが必要です。

子育てで疲れ切らないように、子どもと離れる時間も必要です。

エネルギーを正しく使えるようになりましょう。

どこで関わり、どこで見守るのかを判断できるように、自分の信仰を養いましょう。

神と自分の関係を日々、少しずつ築いていくことが必要です。

気分で怒らないようにしましょう。御言葉による基準を熟成しましょう。

子どもが親の顔色を気にして行動しないように。

子どもの自由を大切にしましょう。これが一番難しい

信仰の成熟と中心軸、そして忍耐が必要。

型にはめるのではなく、神との生きた関係を築いていけるように。

信仰生活を楽しみましょう。

大切だというだけでなく、喜んでいることが大事。

1テサロニケ 5:16~18

「いつも喜んでいなさい。絶えず祈りなさい。どんなことにも感謝しなさい。これこそ、キリスト・イエスにおいて、神があなたがたに望んでおられることです。」

1日の終わりに祈りの時を。

神の導きに思いを向け、神に委ねていく。